



12月 保育園だより



令和6年12月号 社会福祉法人晋栄福祉会
新福島ちどり保育園
担当:井星 夏海

クリスマスに年越し、楽しみがいっぱいの12月。子どもたちは待ちきれない様子で、毎日ワクワクしながら過ごしています。あつという間に時は過ぎ、今年も残りひと月となりました。引き続き体調管理に努めながら、寒さに負けず元気に新年を迎えたいと思います。

12月の予定

- 2日(月) 安田式運動あそび
- 11日(水) 避難訓練 乳児身体測定
- 12日(木) 地域交流 幼児身体測定
- 19日(木) 避難訓練
- 20日(金) 絵本シアター・貸し出し
- 24日(火) クリスマス会
- 25日(水) ミニ音楽会

○12月29日(日)~1月3日(金)は
年末年始の為、休園となります。

※事前に聞き取りさせて頂いている
日程のみお預かりとなります。
※日程に変更がある場合は、変更届の
提出が必要になります。



クリスマス制作紹介



子どもたちが楽しみにしているクリスマスに向けて、各クラスで飾りと壁面の制作を行いました。サンタクロースやクリスマスツリーなど、個性溢れる子どもたちの作品を玄関先、階段に飾りますのでぜひ、ご覧ください。

あさひ組
「プレゼント」



にし組
「スノードーム」



そら組
「フッシュド/エル」



ゆめ組
「リース」



ひかり組
「トナカイ」



ほし組
「フーツ」



キッズサポーター



12月27日(水)に4・5歳児が認知症キッズサポーター養成講座に参加しました。歯の模型を使った話を聞いたり、認知症クイズに参加したりと、楽しみながら学ぶ姿がありました。また代表の友だちが絵本の読み聞かせを行うと、静かに集中して物語を聞いており興味を深めることができました。子どもたちにとっては少し難しい話かもしれませんが、お年寄りの方への接し方などを学ぶことができ、有意義な時間となりました。



芋ほい



ゆめぐみが育ててくれたさつまいもが実ったので、11月1日(金)にみんなで芋ほりを体験しました。力いっぱい土を引っ張ったり、スコップや手で土をかき分けて掘ったりと真剣な表情でさつまいもを探していました。そして無事に土の中から発見すると「あつ!」と満面の笑みで教えてくれました。長さや重さなどを比べたり、色の違いや数にも興味を持つことができました。またおやつではスイートポテトを食べ、「甘くて美味しい〜」と嬉しそうに食べていました。



ピザ作り



幼児クラスが餃子の皮を使って、ピザ作りに挑戦しました。さまざまな具材の中から「ピーマン3つのせたよ!」「ケチャップたくさんのせよう。」など、自分の好みに合わせて味付けや具材をトッピングし、楽しみながら完成させていました。また焼きあがると「美味しそう!」「いい匂いがする〜!」と嬉しそうにしており、大きな口を開けてパクパク食べていました。



園外保育

11月15日(金)・19日(火)・20日(水)に2学年ずつ遠足に行きました。4・5歳児はバス遠足で京都鉄道博物館に行きましたが、さまざまな種類の電車を見たりSLに乗り、秋の風を感じながら保育者や友だちと会話を楽しんだりしていました。また切符の購入や運転シュミレーションを体験し、身近な乗り物に興味を持つ姿も見られました。0歳児から3歳児は近隣の公園に行きましたが、クラスの幅を超えて遊具や集団あそびで身体を動かしたり、どんぐりやいちごの葉などの秋探しを楽しむ姿が見られました。保護者の方が作ってくださったおにぎり弁当も、嬉しそうに食べていました。ご準備、ありがとうございました。



お楽しみ会

11月26日(火)に11月のお誕生日会とお楽しみ会を行いました。誕生者6名の子どもたちは保育者や友だちが見守る中、緊張しながらも名前や年齢、保育者からの質問に元気よく答えていました。またお楽しみ会では、勤労感謝の日に話やお仕事クイズを楽しみました。クイズの中では「警察官!」「ご飯作る人。」など意欲的に答えてくれており、さまざまな職業に興味を持つ姿が見られました。働いてくれている人に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える日ということもみんなで学ぶことができ、良い時間となりました。



クラスだより

あさひ組 (0歳児)

芋掘りや園外保育など秋の食物や自然に触れ、戸外での行事を楽しんだ子どもたち。最近では身の回りのことに興味を持つようになり、着脱や片づけなど保育者と一緒にしています。はじめは難しいことでも繰り返すことで出来るようになり嬉しそうにしている姿が見られます。またクリスマス制作やシール貼り、パズルなど手先を使ったあそびにも意欲的に参加し、保育者や友だちと楽しさを共有しています。12月も寒さに負けず、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。
<目標>身の回りのことに挑戦し、自分で出来た喜びを感じる。



ひかり組 (1歳児)

少しずつ肌寒くなってきましたが、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。今年度初めての園外保育ではあさひ組と一緒に、砂場や滑り台などで楽しく遊んでいました。また、自分でできることが増え、友だちに教えてあげたり自分で頑張る姿も見られるようになってきています。引き続き感染症予防に努めながら、今年最後の一月も寒さを吹き飛ばし、元気に乗り切っていきたいと思います。
<目標>友だちとのやりとりを楽しみ、仲良くあそぶ。



にじ組 (2歳児)

園外保育や散歩を通して、異年齢での関わりが深まり、一緒に楽しくあそぶ中で「早く幼児クラスになりたい」という気持ちが出てきはじめています。着替え、食事などの生活面でも一人ができることがたくさん増えてきていることもあり、自分でできることをとても嬉しそうにする子どもたちです。また発表会に向けて、あそびを通し友だちと表現する楽しさを感じながら、進めていきたいと思っています。
<目標>友だちと表現あそびを楽しむ。



ほし組 (3歳児)

週に一度は散歩にも出かけ、異年齢の友だちとあそんだり、落ち葉やどんぐりなどの自然物を拾ったりと、戸外で過ごすことを楽しんでいます。また発表会に向けて、劇あそびや楽器あそびが始まりました。初めて触れる楽器や難しいリズム、役になりきった台詞や歌など、友だちと一緒に表現することの楽しさを味わっています。寒さが増す季節になるので感染症予防に留意し、休息を取りながら元気に過ごしていきたいと思っています。
<目標>友だちと一緒に、表現することの楽しさを味わう。



そら組 (4歳児)

11月の園外保育や散歩、日々の活動を通して異年齢で関わることを、楽しんでいる子どもたち。年下の友だちとの関わりから相手の思いに耳を傾けたり、相手の思いに気づくということが少しずつ出来るようになっており、嬉しい成長が感じられます。寒さが厳しくなきますので、体調管理には十分に配慮し、丁寧な手洗いや健康に過ごすための習慣が身につくよう見守ることで、元気に過ごしていきたいと思っています。
<目標>健康に過ごすための習慣が分かり、季節の行事やあそびを友だちと楽しむ。



ゆめ組 (5歳児)

少しずつ寒くなってきましたが、子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。散歩先では、木の実拾いや虫探し中に発見する不思議に「なんでいろんな色の葉っぱがあるんだろう?」などと、友だちと話し合う姿があります。一緒に考えたり思いを共有することで、お互いを尊重したり発表会でのアイデアの出し合い等にもつながると思います。最後の発表会に向けて運動会の時のように、クラス一丸で頑張っていきます。
<目標>友だちと発表会の練習に取り組む。

